

## 沿線の住環境・自然環境への対応

- 絶滅危惧種のオオタカやサシバの保全対策として、常磐自動車道付近に**代替巣を設置**。その結果、**日本で初めてサシバの繁殖に成功**。
- 蓋掛け部では、都市公園を整備することで**沿線の住環境を維持**。
- 自動車排出ガス(CO<sub>2</sub>等)の削減により、**地域の環境負荷が軽減**。



### 猛禽類の保全対策(常磐富岡IC~新地IC)

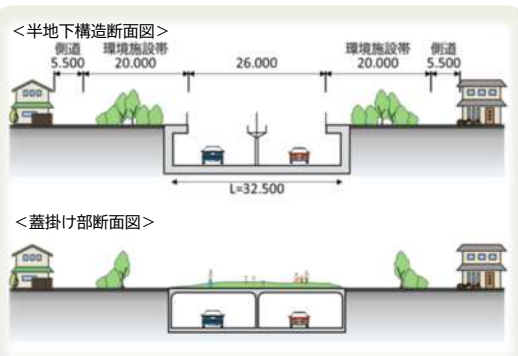
建設区間周辺に絶滅危惧種の**サシバ**が生息していることから、**代替巣を設置**。

1998年	自然環境保全対策「検討委員会」設置
1999年~2007年	人工の代替巣設置
2013年	日本で初めて代替巣による繁殖を確認
2015年	2度の代替巣による繁殖に成功
2023年	サシバの生息を確認



【写真】NEXCO東日本資料

### 高速道路の半地下構造化及び蓋掛けによる都市公園設備(三郷JCT~柏IC)



#### 蓋掛け部の公園(西十余二第一公園)



2024.9撮影

常磐自動車道の上に公園が整備され、イベントや防災訓練で利用しており、**地域の活性化に寄与**しています。



公園利用者の声  
ヒアリング結果  
(2024年10月)

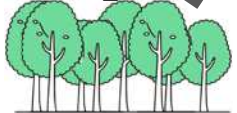
### 環境負荷の軽減(CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SPM)

常磐自動車道整備に伴い**環境負荷(CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SPM)が軽減**。

CO<sub>2</sub>排出量※1※2  
**約312kt/年 削減※3**

**約35,455ha**※4  
の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>に相当

CO<sub>2</sub>



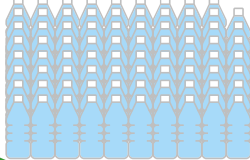
NO<sub>x</sub>排出量※1※2  
**約461t/年 削減※3**

大型車に換算すると  
**約414万台**※5  
に相当



SPM排出量※1※2  
**約79t/年 削減※3**

500mlペットボトルに  
換算すると  
**約79万本**※6  
に相当



算出条件: 宮城県・福島県・茨城県・埼玉県・千葉県の道路を走行する車両の各排出量、整備有無で比較。

- ※1 『客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法について(国土交通省道路局H15.11)』に基づき算出。
- ※2 CO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>・SPM排出量の原単位は『CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SPMの排出原単位の設定について(国土交通省道路局H24.2)』より引用。
- ※3 常磐自動車道(三郷JCT~互理)整備なしのCO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>・SPM排出量から、整備ありのCO<sub>2</sub>・NO<sub>x</sub>・SPM排出量を減じた値である。
- ※4 林野庁HPより引用し算出(36~40年生のスギ人工林1haが1年間に吸収する二酸化炭素の量は約8.8トンと推定される)。  
[https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin\\_riyou/ondanka/20141113\\_topics2\\_2.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/20141113_topics2_2.html)
- ※5 大型車1台が40km/hで平均走行距離を走行した場合に排出するNO<sub>x</sub>量に換算。平均走行距離(営業用貨物車): 約45km/台(2021年全国道路・街路交通情勢調査)
- ※6 東京都環境局自動車公害対策部HPより引用し、SPM削減量を500mlペットボトルに換算(SPM100g=500ml)。  
[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/vehicle/air\\_pollution/diesel/faq](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/vehicle/air_pollution/diesel/faq)